

わくわく倶楽部

江口グループ

第225号

令和8年4月発行

誤解された仕事を、憧れの仕事へ

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



今 月も江口グループわくわく倶楽部ニュースレターを読んでいただきありがとうございます！4月は2名の新入社員が仲間に加わります。人手不足と言われる時代のなかで、4月に新入社員を迎えられることは、私たち江口組にとって本当にありがたい出来事です。若い力が「ここで頑張ってみよう」と一歩を踏み出してくれる。その事実だけでも、現場にとって大きな希望です。

そ んな喜びを感じる一方で、私は時々、20年以上前にこの業界へ飛び込んだ頃のことを思い出します。あの頃は、今は空気がまるで違いました。建設業には人が多く、土木を志す若者もたくさんいました。「人が集まらない」なんて言葉は、少なくとも私の周りではほとんど聞かなかったように思います。いったい、なぜここまで状況が変わってしまったのか。最近、改めて考える機会がありました。

私が一番の転機だと感じているのは、「コンクリートから人へ」という言葉を掲げた政権が誕生した頃です。この言葉は国の方向性を象徴するキャッチコピーとして広まり、その後、公共投資が減り、仕事が減ったことで、多くの建設会社が厳しい局面を迎えました。実際に地元の建設業協会の会員数は、当時に比べて半数ほどになったと感じています。仕事がなくなり、倒産や廃業が相次ぎ、業者の数が減っていった。これは業界にとって大きな痛手でした。

しかし、私がそれ以上に深刻だったと感じているのは、社会に広がった“土木の悪いイメージ”です。マスコミの報道も影響し、「公共事業＝ムダ」「土木＝悪いもの」といった印象が定着していったように思います。その影響は採用現場にもはっきり表れました。私は当時、就活生からこんな言葉をかけられたことがあります。

「土木って未来あるんですか？」

「親が、土木の仕事だけはやめとけて言うんです」
驚きました。なぜなら、その学生は土木を学んでいる学生だったからです。土木の道に進もうとしている若者が未来を疑い、親からも止められている。ここまでイメージが悪くなってしまったのか、と衝撃を受けました。

さらに、大学でも「土木学科」という言葉をやめる動

きが広がりました。「都市創造学科」「環境都市学科」など、土木と直結するイメージが湧きにくい名称が増えた背景には、「土木」という言葉のイメージが悪いからだ、という話も耳にしました。社会の空気が、教育の世界にまで影響していたのだと思います。

けれど、ここで大切なのは、「マスコミが悪い」「政権が悪い」と言って終わらせないことです。土木側にも足りなかったことがある。それは、広報活動をしてこなかったことだと私は思っています。土木の仕事は、完成したら“当たり前”になってしまう仕事です。道路が通れて当たり前。橋が渡れて当たり前。川があふれずに暮らせて当たり前。だからこそ、黙っていると価値が伝わりません。伝わらないまま年月が過ぎると、外から貼られたイメージだけが残ってしまう。私たちが誇りを持ってやっている仕事の本当の価値を、社会に届けてこなかった。その反省があります。

だから江口組は、土木広報を頑張っています。土木の魅力を伝えることは使命だと考えています。イメージアップを図り、「ここで頑張りたい」と思う若者を発掘すること。これが、私たちが発信を続ける理由です。

そして今、土木が必要とされる理由は、これまで以上にはっきりしています。インフラ構造物の老朽化が進み、大きな災害による甚大な被害を防ぐために、土木の力は欠かせません。さらに石川県では、能登の復旧・復興に向けて、土木が果たす役割は極めて大きい。地域の暮らしを取り戻し、未来へつなぐために、現場で動く力が必要です。

土 木は、ただコンクリートを扱う仕事ではありません。人の暮らしを守り、地域の未来をつくる仕事です。工事は時に、ご不便をおかけすることもあります。それでも私たちは、完成した先の“安心”まで見据えて仕事をしています。どうか土木の仕事を、少しでも身近に感じていただけたら嬉しいです。そして若い世代へ。「地元を守る仕事がしたい」「人の役に立つ仕事がしたい」そう思う人がいたら、土木という選択肢を思い出してください。私たちは、ここ石川で仲間を待っています。

江口グループ現場だより

江口組といえば“人”。 未来の仲間へ伝えた想い

2 月27日(金)に小松工業高校で開催された企業説明会に参加してきました。当日は約20分間という限られた時間の中で、江口組について紹介しました。

「江口組はどんな会社なのか」「どのような仕事をしているのか」「福利厚生や働く環境はどうなっているのか」など、生徒の皆さんが将来を考えるうえで気になるポイントを中心に話しました。今回参加してくれた生徒の多くは建設科の皆さんでした。地元企業ということもあり、「名前は知っている」という声も多く、地域に根ざした企業として認知していただいていることを改めて実感しました。一方で、「詳しい仕事内容や会社の雰囲気までは分からない」という生徒さんも多く、今回はその“知られていない部分”を丁寧にお伝えすることを意識しました。

説明の中で何度もお伝えしたキーワードは「人」です。江口組の強みは、技術力や施工実績だけではありません。現場で支え合いながら働く仲間の存在、若手社員が活躍できる環境、そして温かく前向きな社風こそが、私たちの大きな魅力です。これから進路を考える生徒の皆さん

にとって、会社選びは人生を左右する大切な選択です。だからこそ、仕事内容だけでなく「どんな人と働くのか」「どんな雰囲気の中で成長できるのか」も知っていただきたいと考えています。

今回の説明会が、土木の魅力や江口組という会社に向けるきっかけとなり、将来一緒に働く仲間との出会いにつながることを願っています。



質問してくれる生徒も多く
とても有意義な時間となりました



合計で47名の生徒が
江口組を聞きに来て
くれました

大雨から地域を守る。 手取川の河川対策工事がついに完成!

皆さんこんにちは。広報部のきゅうだです。この度、江口組が施工した「R6手取川朝日急流河川対策工事」が2月末に完成しました! この工事は、大雨の際に川の流力が強くなった時でも堤防を削られるのを防ぎ、地域の安全を守るために行われたものです。

普段は穏やかな川でも、大雨が降ると流れが一気に強くなるため、天候や水位を見ながら294日間、安全第一を徹底しながら慎重に進めてきました。

工ではICT技術を活用し、重機をコンピュータで制御することで、川の中でも設計通りに正確な施工ができました。また、3次元データやARで完成イメージを共有することで、関係者全員が同じ完成像を確認でき、スムーズで安全な施工に繋がりました。

さらに、鮎の親魚放流や産卵場所づくりにも参加し、川

の環境を守る取り組みにも関わりました。長い期間、地域

の皆さんのご理解とご協力のおかげで、無事完成を迎えることができました。ありがとうございました! これからも江口組は地域の安全を守るインフラ整備に取り組んでいきます。



工事の完成写真です!
大雨が降っても安心して過ごせます♪



近隣の小学校の皆さんと
鮎の親魚放流を行いました!

このニュースレターの他に、江口組公式SNSでも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式 Facebook ページ

www.facebook.com/eguchigumi/

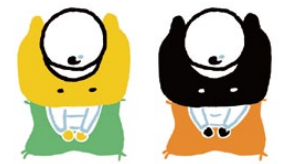


(株)江口組公式 X(旧Twitter)

@eguchigumi



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
 皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^^) /



AI×土木×YouTube — 進化する江口組の発信力

江口組では、YouTubeチャンネルを通じて、現場の様子や社内の取り組み、働く社員の姿を発信しています。文章や写真では伝えきれない現場の臨場感や社員の表情、会社の雰囲気をもリアルに届けるため、動画での情報発信に力を入れています。現在は、現場紹介動画や若手社員インタビュー、社内イベントの様子など、多様なコンテンツを公開し、江口組の“今”を発信しています。

最近の動画編集にAIを積極的に活用しています。テロップ作成の効率化や構成案の作成補助などにAIを取り入れることで、制作スピードと品質の向上を図っています。これにより、より分かりやすく、視聴しやすい動画づくりが可能となりました。土木業界は「現場」のイメージが強い分野ですが、江口組ではこうしたデジタル技術も柔軟に取り入れ、情報発信の分野においても進化を続けています。

進路を考える学生にとって、動画は企業理解を深める重要なツールの一つです。「どんな人が働いているのか」「どんな雰囲気の会社なのか」そうした情報を、より具体的に伝えることができるのが動画の強みです。YouTube

チャンネルは、江口組の技術力だけでなく、“人”や“社風”を伝える場でもあります。

今後もAIなどの新しい技術を取り入れながら、より魅力が伝わる発信を行い、未来の仲間との出会いにつなげていきたいと考えています。ぜひ一度、江口組のYouTubeチャンネルをご覧ください♪

江口組YouTube
 チャンネルは
 こちらから!



江口組YouTubeの
 最新動画です!



クリエイション江口 環境部

自分たちクリエイション江口 環境部は、ベテランの村上昌洋を中心に、新卒5年目の刀祢紀大、3年目の徳田律平の3名が在籍するチームとして活動しています。ベテランの経験と若手の行動力を活かしながら、日々さまざまな現場で作業に取り組んでいます!

現場では、お客様の機械設備や工場をより良くするために、チームで協力しながら作業を進めています。経験豊富な先輩から学ぶことも多く、日々新しい気づきや学びを感じています。

これからも、ただ作業を行うだけでなく、現場の状況に合わせた丁寧な施工を心がけ、お客様に安心していただけるよう、仕事に繋げていきたいと思ひます。

今後は環境部の取り組みなどもお届けしていきますので、よろしくお願ひいたします。



して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください! 毎日どれかは必ず更新しています!



スタッフ通信

2026年が始まり、あっという間に3ヶ月が経ちました。
今回も、午(うま)年にちなんで「上手になりたいこと」をスタッフの皆さんに聞いてみました。

工事部
山根 勝敏



字

最近、歳のせいで
手が震える。

広報部
川崎 真綾



絵

絵が下手だから



工事部
加戸 虹帆



お金の使い方

貯金と頑張りがから



ご意見・ご感想など、
同封のアンケートハガキ
または、下記のQRコードより
ぜひお聞かせください!!



発行元

EGUCHI

江口グループ
株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311代
eguchigumi@eguchi-group.co.jp